

この貧雪の年、豪雪地帯の月山方面はいかに？

出羽三山 湯殿山山スキー

手嶋

【日時】 2007年3月10日ー11日

【メンバー】 古野（L）、手嶋、田村、浅井、宮下（OB）

この異常に雪の少ない年、東北方面は行く場所に悩む。天候が気にはなるが、思い切って月山方面を狙ってみた。湯殿山と姥ヶ岳、ベースを置いて1日1本ずつやろうということである。前夜寒河江SAあたりに全く雪がないのに亜然としたが、果たして月山方面はさすがに雪が多く、志津のあたりでも多いところでは3mの雪壁である。それでも昨年4月よりも少ない印象であるが。

週初の予想よりも天候は遅れている様子で、志津に車を置いて歩き始めるころには何となく晴れてきた。六十里越の分岐から橋を渡ったところで、トレースに沿って林に入る頃には晴天になった。結局頂上までこのトレースは続いており非常に楽ができた。

穏やかにうねったブナの疎林を登る。行く手には湯殿山、姥ヶ岳が真っ白な山容を横たわらせている。はるかかなたにあるようでいて、歩くにつれてどんどん近づいてくるので、そうでもないのだろう。そう言えば20年も前になるか、GWに1人で登った時には、確か頂上まで2時間半くらいだったような気がする。

「今、あそこを滑ったらいいだろうね。」などと言いながら登る。そう、この晴天は低気圧の接近でいつまでもつかわからないのだ。美しいブナ林にベースを置くことにした。テントを立てて日帰り装備になって再出発。

このあたりから、少しずつ斜面は急になる。今日は自分の調子はなかなかよい。まあこのところは1週おきに行っているんで、体調はそれなりに



に整っているのだろう。それにしても雪が悪い。パウダーなどとはとんでもない話で、春の一番悪い雪。滑りは苦勞するのだろうか。

森林限界を越えると素晴らしい白の世界が広がる。幅の広い尾根を登っていく。やはり天候が少しずつ悪くなってきた。全天を薄雲が覆っているし、隣の姥ヶ岳の頂上にはすでに雲がかかった。向かう湯殿山の頂上もそろそろ危ない。

途中、シールの効きが悪くなってきたので、田村君にトップを交代してもらった。そ

<http://www.tomanokaze.dojin.com/>



の途端彼は超スピードで私の視界からすぐに消えてしまった。

「もう体力はダメですよ。」などと言っていたが、やはり底力が違う。今日は自分も調子が良かったと書いたが、ここから頂上までの30分の間に、10分の差がついた。

そこが頂上か、と思っでは先があるところが2ヶ所ほど続き、ついに先のピークに田村君が止まっているのが見える。もうひとがんばりである。

頂上は穏やかだった。かろうじてまだ展望が利いた。ただし朝日連峰などはすでに頂上付近は雲の中である。全員揃って記念撮影をして滑りモードにする頃には、この頂上にもガスがかかってきた。まあ間一髪のところで一応は展望の頂上にたどり着くことができたわけだ。

頂上直下は雪が固い。それに加えてボソボソでもあり滑りにくい。GWなどはここから直接南面の大斜面を滑るのであるが、この季節少し怖いので、基本的にはトレースを戻りながら、いい斜面を見つけながら行くことにした。

尾根をしばらく滑って適当なところで、南の大斜面の方向を滑る。標高差200-300mの無立木の急斜面。ここは最高！雪は決してよくはないが、急斜面にジャンプターンが面白いように決まる。田村君も豪快にジャンプターンで突っ込んでくる。フリートレックの宮下さんはうまい滑り、浅井さんはしぶとい滑り、そんな感じだ。

古野さんは少々冴えない。先ほど尾根を滑っている時に、つまらないところで結構豪快にコケたのが、おそらくきいているのだろう。この大斜面をおっかなびっくりだった。今回は終始さえないようで、終了後「全然満足できなかった。」と言っていた。

この大斜面が終わるとブナの疎林へ。雪は悪いので注意が必要だが楽しく滑る。緩急取り混ぜたブナ林を滑ると、2時間かけて登った頂上から、わずか35分でテン場へ戻ってしまった。これが山スキーだ。

あとは本日のメインイベント（！？）、夜の部へと続く。

夜半から雨っぽい雪が降り始め、これから天候は悪い方向へ行くのは目に見えているので、2日目の姥ヶ岳は中止にし、昨日来たルートを車まで戻った。8時過ぎには着いてしまった。まあ昨日の登頂と滑降は十分に満足できるレベルのものであったので、悔しい気持ちは全くなかった。

むしろ帰りの高速での強風を見ると、今日は行かずで正解の感であった。

【行程】 3/24 車止め (9:10) ~テン場 (10:50/11:15) ~湯殿山山頂 (12:55/13:05) ~
テン場 (13:40)

3/25 テン場 (7:00) ~車止め (8:10)

【地図】 湯殿山、月山、赤見堂岳、本道